

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社新日本クレスト

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		各スタッフが分別できる能力を身につけ、リサイクルできない廃棄物（紙くず、木くず、鉄くずなど）は専門の業者に委託処分している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		冷暖房の温度設定（夏場28℃、冬場20℃）や、低燃費走行に全社員が取り組んでいる。 【予定】「簡易計算シート」を活用し、2024年8月までに自社のエネルギー使用量を把握する。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社用車へのEV、HV車の導入によりCO2排出の抑制に取り組んでいる。 【予定】2023年9月より簡易計算シートを用いて温室効果ガスの排出量の抑制に取り組む。		2.4					7.2	7.3				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・廃棄物の適切な処理、管理を行い、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・仕分けが出来ないプラスチックを、フレコンに入れて飛散防止に心掛けている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		リサイクル業者と提携して回収を依頼している。他に、再生紙や裏紙の利用を行っている。										9.4			12.2	12.4	12.5	14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		洗車時は高圧洗浄機を利用する等、節水を心掛けている。		2.4				6.1	6.3	6.4	6.6	6.b				11.5		14.1	14.2	14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		リユース品・リサイクル品を使用している。（廃フレコンバッグ、パレットなどの再利用をしている。）											9.4		12.4	12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6	11.7		13.1	13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1	7.2	7.3	7.a		9.4		11.5		13.1	13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6					9.4		11.3	11.4	11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1	6.3	6.6					11.3	11.4	11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	有価で買えるプラスチックの積極的な買取りにより、海洋ごみ汚染防止に取り組んでいる。														12.2	12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	社用車は、排ガスを抑制するためにEV車を積極的に導入している。												9.4		11.2		13.1	13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1	7.2	7.3	7.a		9.4		11.6	11.a	12.8	13			17.17	

